

第2回 運営推進会議

平成29年3月15日(水)

14:30～

デイサービス若芝



デイサービス若芝

次第



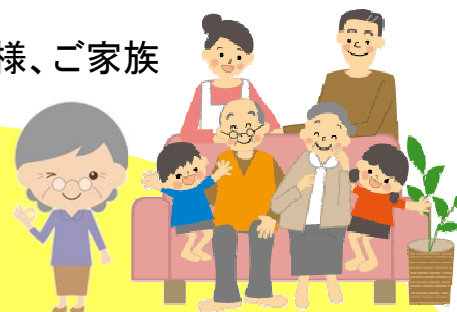
1. ごあいさつ 【センター長 渡部浩考】
～本会議の趣旨(目的)について～
2. デイサービス若芝のご紹介 【センター長 渡部浩考】
3. H28年度後期の活動紹介 【統括マネージャー 渡部美保子】
4. H29年度へ向けて 【統括マネージャー 渡部美保子】
5. 意見交換他

本会議の趣旨



利用者様(ご家族様)、市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにし、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図ることを目的としています。

利用者様、ご家族



地域の方々



三島地区(芝本町)



三島市(包括)、有識者



デイサービス若芝

定期的(半年に1回)に開催して、情報を共有したり、意見交換をしたりすることで、地域全体で介護サービスの質の向上を実現していく。



デイサービス若芝のご紹介1

【開設】

平成24年1月1日

通所介護(要介護)／介護予防通所介護(要支援)
に関するサービスを提供する事業所として認可・開所
(平成28年4月1日より地域密着型通所介護へと移行)

1日のご利用定員 …… 10名

サービス提供時間 …… 9:15～16:30

- ・兄貴分のふじしろデイサービスに続く事業所
- ・開所時より「認知症ケア」へのこだわりを発信
- ・認知症の利用者様からのご支持をいただく。
- ・ふじしろデイサービスと協力して2拠点展開のメリットを最大限に活かしながら、「認知症ケア」を磨いてきました。



デイサービス若芝のご紹介2

【事業所情報】

デイサービス若芝(事業所番号:2270600873)
〒411-0834 静岡県三島市芝本町11番地の32
TEL:055-983-0808 FAX:055-983-0811
ホームページ: <http://www.com-work.jp/>



【関係事業所】

平成20年2月1日

ふじしろデイサービス(通所介護／介護予防通所介護)

- 個別ケアにこだわって、様々なニーズに応える努力
- 10名定員に対して空間が広く、いろいろなことに挑戦



平成20年2月1日

居宅介護支援事業所ふじしろ(ケアマネージャーが常駐)

- 困難ケースにも積極的に取組み少数精鋭主義で運営
- H28年4月よりケアマネージャーを増員し積極展開へ



デイサービス若芝のご紹介3

<ご利用実績>

ご登録人数: 26名

◆2月のご利用実績

平均稼働率 = 95%

※1日の定員10名に対して、毎日9名強のご利用(お休み等があるため)

<ご利用予定(3月1日時点)>

月	火	水	木	金	土
10名	10名	10名	10名	10名	10名

認知症が主訴である方が9割以上

ご自宅・・・安心できる場所
若 芝・・・生活のメリハリをつける場所

介護度	人数
要支援1	1名
要支援2	0名
要介護1	15名
要介護2	7名
要介護3	2名
要介護4	0名
要介護5	1名



デイサービス若芝のご紹介4

<スタッフ体制>

	ふじしろ	若芝
相談員	専任1名、兼務者1名	専任1名、兼務者1名
介護職	専任3名、兼務者1名	専任4名、兼務者2名
看護師(機能訓練指導員)	1名	1名
ケアマネージャー	専任2名、兼務者2名	—

<保有資格者数(ふじしろ・若芝)>

- ・介護福祉士(国家資格): 11名
- ・認知症ケア専門士 : 5名
- ・ケアマネージャー : 4名
- ・介護プロフェッショナルキャリア段位制度アセッサー: 2名
- ・社会福祉士(国家資格): 2名
- ・認知症介護実践者研修修了者: 7名
- ・ヘルパー: 1級2名、2級4名

<研修>

考え方「認知症ケア・個別ケアのプロフェッショナル集団を目指しましょう」

資格取得: 受講料、模試、交通費まで全面的に支援(就業後の勉強会も開催)

Off-JT: 週2回の倫理研修、月末のミニ勉強会、外部研修会への参加

※千葉県松戸市の事業所との交流も不定期に実施



H28年度後期の活動

<季節に応じた活動>

日々の活動に、季節感のある行事を交えて生活リズムを作っていきます。

月	活動
10月	秋の調理企画、外食企画
11月	防災訓練、菊祭り散策、囲碁ボランティア、年の瀬の準備
12月	年末年始の装飾作り、年末調理企画
1月	正月企画、七草粥、体操指導、初詣企画
2月	お菓子作り、桃の節句準備
3月	桃の節句企画、お彼岸

<その他>

- ・ふじしろデイサービスにて、定期実地指導→若芝へも展開
- ・労働基準監督署の定期実地指導→指摘ゼロ
- ・地域の防災訓練へ職員が参加→地域の一員に加わる



H29年度へ向けて

<わたしたちの使命>

利用者様が住み慣れた我が家で、
健やかな日常生活を送り続けるための支援をしていく

<認知症ケアを極めていきます>

- 小規模事業所だからできる認知症の利用者様への細やかな支援
- 認知症ケアのスキル・知識を磨き続ける。専門職のレベルアップ。
- よろず相談所として様々な相談窓口になれる組織を目指す。
- 地域の安心に繋がる事業所であり続ける。

<地域との関わり>

～オープンで信頼される事業所であるために～

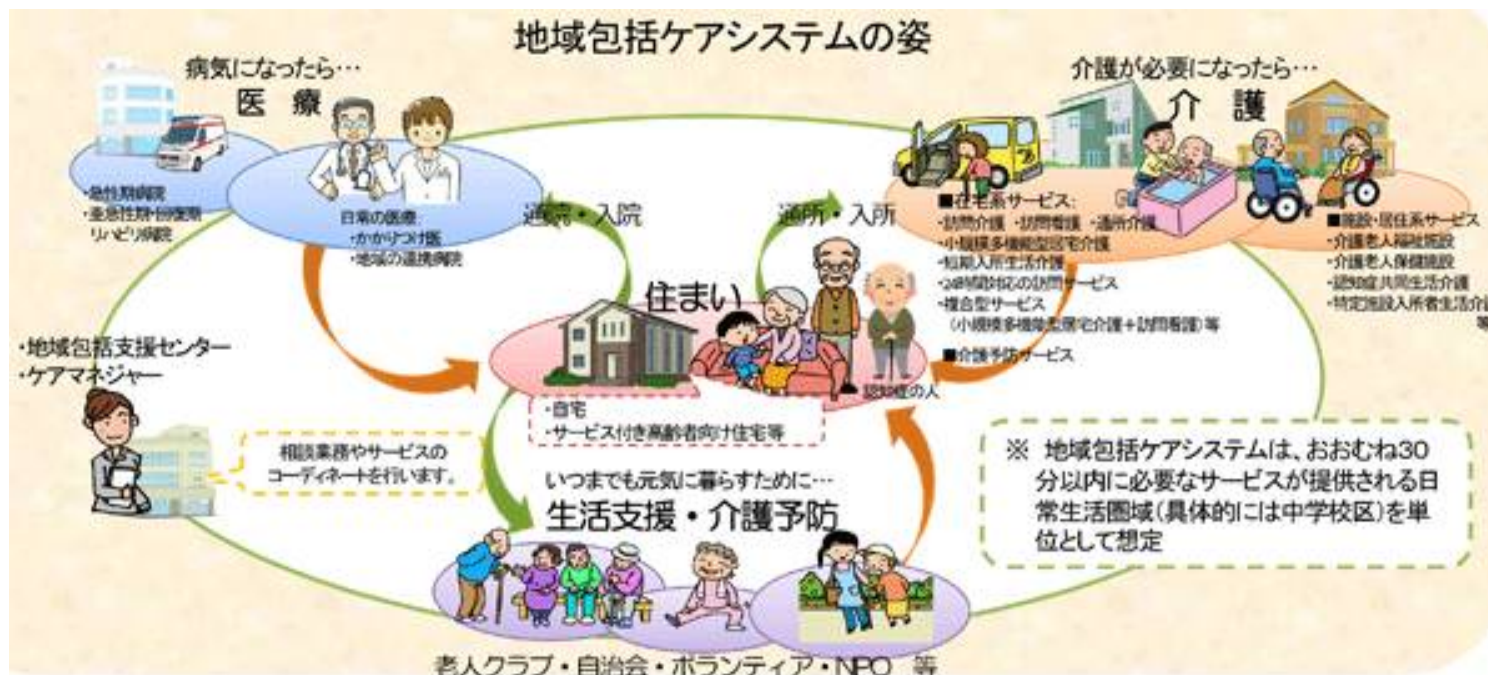
挨拶・声かけ

来所者＝お客様

芝本町かかわりを最優先

地域包括ケアシステムの中のふじしろ・若芝

高齢者が増え続けていく現在において、住み慣れた地域で暮らし続けるためにはどうしたらよいのか。そのモデルが国の提唱する地域包括ケアシステムです。大げさなことではなく、「自宅での生活、時々入院」の生活を実現させるために公的機関・民間・地域の住民がつながっていくということが理想です。この運営推進会議もそのシステムを絵に描いた餅にしないよう芝本町の生活エリアにおいて、「顔の見える関係づくり」を進めて、困ったときに互いに声を掛けあえるようにするためのきっかけとなればと考えます。ふじしろデイサービス・デイサービス若芝がその中でどのような役割を求められ、果たしていくか是非、困りごとをお聞かせください。





認知症初期集中支援チーム

こんな困りごとが聞かれます。

「認知症と思われるけれども本人がかたくなに病院に行く事を拒否している」

「お風呂に長いこと入っていない」「介護のサービスを使いたいけど本人が拒む」

「デイサービスに行く事も本人は望んでいない」「サービスにつながらない」

⇒そんな時にどうしたらいい？1つの相談窓口として、

三島市には認知症初期集中支援チームが発足しています。

医療・介護の専門職と認知症サポート医がチームとなり、医療や介護のサービスに繋がるようにサポートします。

サポートの対象となる方は

三島市に住民票がある40歳以上の人で次のいずれかに該当する人です。

医療サービス・介護サービスを受けていない人、又は中断している人で

- ・ 認知症の診断をうけていない人
- ・ 継続的な医療のサービスを受けていない人
- ・ 適切な介護保険サービスに結びついていない人
- ・ 認知症と診断されたが、介護サービスが中断している人
- ・ このほか、医療・介護のサービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している人です。

まずは、お住まいの地域を担当する地域包括支援センターにご相談ください。

〔三島市HP〕

ふじしろ／若芝でも、既に集中支援チームからの相談事例があり、積極的にかかわっています